

進化の中で現れた、植物と昆虫の切っても切れない縁

あなたは里芋が好きですか？ 私は大好きです。特にイカとの相性は抜群です。飯山市木島の坂井芋、木曾・上伊那・下伊那のあかたつ（唐芋）、駒ヶ根市（上赤須）の赤須さといもは、信州の伝統野菜としても認定されています。今回はそんな里芋（とサトイモ科植物）の進化と生態に隠された、昆虫との深～い関係を紹介します。



高野（竹中）宏平さん

<講師プロフィール>

たかの・こうへい 長野県環境保全研究所 自然環境部。技師・植物生態担当（地球環境科学博士）。千葉県松戸市生まれ。東京農工大学農学部を卒業後、北海道大学大学院地球環境科学研究科に進学し、オオバナノエンレイソウの自殖性の進化（修士）、タロイモショウジョウバエとサトイモ科植物の送粉共生（博士）などを研究。長崎大学熱帯医学研究所、総合地球環境学研究所、東北大学、森林総合研究所を経て2017年4月より現職。



サトイモの葉（左図）とサトイモの花（右図）には、どんな昆虫がやってくるのでしょうか？

講師： 高野宏平さん

（長野県環境保全研究所）

日時： 3月2日（土）

午後1時30分～3時

場所： 飯田市美術博物館 講堂

※聴講無料（申込不要）